

NPO 法人ふくてっく 平成 29 年度 第 2 回理事会 議事録

日時 平成 30 年 8 月 4 日 10:34~12:10

場所 大阪市立社会福祉センター 第 2 会議室

式次第

出席状況報告 理事：小川 苺田 清水 曾我部 池端 中北 (欠席：杉浦、岡)
監事：秋岡 稲住
以上、理事 8 名中 6 名 監事 2 名中 2 名の出席を得て、
理事会は成立する。

議長の選出、 満場一致で 小川理事を選出
開会の宣言 小川理事は議長席につき開会を宣言
書記の指名 議長は議事等の記録を中北理事に指示した。

議案 1 議事録署名人の指名
議長は苺田理事と池端理事を議事録署名人に指名した。

議案 2 平成 29 年度活動報告と各部収支報告、ならびに決算報告、監査報告、理事長挨拶

2-1 理事長挨拶について (小川理事長)
3つの部会がそれぞれに活発に活動できているときにこそ会員増強を図りたい。

2-2 事務局報告 (中北理事・事務局長)
7/21 の運営会議の指摘通り、一部加筆修正している。

2-3 ふくてっくのつどい (小川理事長)
多くの会員参加を得て、活発に活動した。
収入については先方の事情次第で決まっている。
参加メンバーには少ないながらも交通費程度の支給を行っており
3万円余の赤字となっている。

2-4 東大阪部会 (清水理事)
東大阪市委託事業では、29年度から改造費助成の対象から高齢者が外れたため、
例年 50 件前後あった申請が 10 件足らずに激減している。
研修活動は活発に実施できた。
タイアップ事業は大変好評で、産経新聞にも大きく取り上げられている。
ワンポイントアドバイスは今回も未実施に終わった。
東大阪市への報告書作成が遅れて、その支払いが実行できていないので
未払い計上とする。

2-5 こむねっと部会 (中北理事)
年度初めから天王谷学園の第三者評価を進めていたが、秋には(株)ぐりーんからの
評価依頼、そして年末に 3 件の児童養護施設から評価依頼があり、大変忙しい
年となった。無事終了している。長く低迷していたが、ようやく活性化の兆
しが見える。
収支としては第三者評価が若干汚赤字(対収入比約 6%)のほか、収入のない活

動もあり。建物調査活動の収益があるが、全体として3万円余の赤字となっている。

2-6 NPO15周年記念事業

10/1にNPO15周年を記念する事業としてシンポジウムを開催した。

外部からも多くの参加者を得て成功裏に終了している。

報告書は作成できていない。

2-5 平成28年度決算報告

期首の予算計画では約40万円の赤字を想定していたが、未実施の事業もあり、赤字額は15万円弱にとどまっている。

2-6 監査報告

7/30の監査で適正を確認している。

以上、議案2について各担当理事からの報告を受け、議長は各理事に意見を求めたところ、一同異議なくこれを承認した。

議案 3 平成30年度活動計画と各部収支計画

3-1 ふくてっくのつどい (小川理事長)

昨年度に引き続き、ものづくり活動、たいけん活動、ものしり活動を継続する。

ものづくり活動については、今期も若干の赤字を想定している。

こどもホスピスへの活動参加については現段階では見通しが立っていない。

3-2 東大阪部会 (清水理事)

引き続き、東大阪での検証活動、研修活動、そして寝屋川市の研修活動を継続する。30年度から大橋会員、中北会員がメンバーから外れ、春岡会員が復帰した。各メンバーともに、本務が忙しくなっており、検証スケジュールへの担当割振りが難しくなっている。

大阪市住まいの情報センター出前講座を始めている。すでに7月以降実施した講座では、市民の介護保険制度理解が不足していることが浮かび上がっている。

3-3 こむねっと部会 (中北理事)

第三者評価事業については、大阪府社協が平成30年度末をもって評価事業から撤退することがきまり、大きな転換期を迎えている。

当会も昨年度からの活性化を定着すべく、事業発展を模索してきたが、待ったなしの状況である。体制を見直して臨みたい。

他の活動については状況に応じて対応するが、当面は第三者評価を中心に活動することになる。

第三者評価の活動が量的に拡大すると、メンバーへの活動費配分を向上する必要がある、この点についても見直しが避けられない。

予算計画については、昨年度対比大幅な増額が見込まれるが、収支差額については大きなプラスは期待できない。

3-4 平成29年度予算計画 (中北事務局長)

各部会から提示された事業計画・予算計画を踏まえ、別紙のとおり予算計画を作成した。20万円余の赤字となっている。

以上、議案3について各担当理事からの報告を受け、議長は各理事に意見を求めた